



高齢者と子どもたちのいきいき活動

問 令和8年度に「めざすまち」へ向かい①若者への応援②住民の安全安心の確保③全員がワンチームの方針を打ち出された。その中で高齢者が活躍できる団体はさまざまあるが、単体で活動している。これらを結集し、若い世代に協力を得ながらの活躍拠点を作るべきでは。高齢者は町発展の担い手としての一員でもある。

答 シニア層が地域での活動の担い手になることは重要である。今後、各団体と調整を行い環境づくりに努める。

高齢者施策を



チーム新星
こうのてるよ
河野 照代議員

高 高齢者の活動拠点の構築を

答 環境づくりに努める

制服購入費の補助を

答 考えていない

問 物価高騰のため、隠れ教育費といわれる制服を補助する自治体もある。播磨町でも入学祝いとして制服購入費を補助するべきでは。

答 現在、一部補助はあるが、全ての家庭への補助は考えていない。

更なる庁用バス活用を

答 条件を拡充

問 高齢者も含めて、子どもたちの部活動の地域展開や校外遠征などに、庁用バスの使用条件の拡大を図るべきでは。

答 利用条件の拡充を行う予定である。

その他の質問

■ 教職員への緊急用携帯電話の配備は

町政 ここを問う

3月10日に3人の議員が会派を代表し令和8年度施政方針について町当局の考えをたどりました。



録画配信

代表質問とは、3月定例会において会派を代表する議員が町長の施政方針や予算編成方針に対して行う質問です。

質問者	質問事項
1 チーム新星代表 河野 照代	(1) 令和8年度の施政方針は
2 播磨町民の会代表 宮宅 良	(1) 令和8年度施政方針は
3 公明党代表 大龍 金三	(1) 令和8年度施政方針は (2) 地震火災の予防対策を (3) 高齢者の介護用品などの補助拡充を

人材投資を



播磨町民の会
みやけりょう
宮宅 良議員

業 業務に見合った対価が必要では

答 指定管理料増額も視野に入れる

指定管理料増額も視野に入れる

問 指定管理者制度は、管理委託から、住民主体による協働型委託が主流となっている。時代のニーズや即応性を発揮するには、人件費のあり方や業務に見合った対価が必要である。人材投資として、支援を推し進める考えは。

答 人件費をコストではなく、地域価値を創出するための投資としての視点を持ち、指定管理料の増額も視野に入れた支援を検討する。

問 県が予定する用途地域の定期見直しは、町域の狭い本町にとつて、ビジョンを示す好機では。

答 町都市計画マスタープランに掲げる将来都市構造の実現に向け、積極的な見直し案を県へ提示する。

問 令和9年度からの運用に向けて中央公民館の施設予約システムを導入を進めるが、法律相談の予約も利用者の利便性向上を図るため、同システムを活用すべきでは。

答 法律相談予約は、窓口受付以外に令和8年度から電話予約を可能とし、システムの活用も他自治



令和8年度の施政方針がもたらす未来